

環境心理生理運営委員会 2008年度第2回
議事録（案）

日時：2008年9月18日 12:10～13:20

場所：広島大学 教育学部L棟 202室

出席者：主査 大井尚行

幹事 槇究

委員 讃井純一郎 山中俊夫 小島隆矢 大野隆造 中村芳樹 西名大作 宗方淳

オブザーバー 小野久美子（ヒューマナイジング小委幹事）

議事

メール報告確認

報告事項

- (1) 環境工学本委員会 2008年度第1～2回（メール報告済み）
- (2) 関連刊行 WG 活動状況報告
 - ・環境工学実験用教材 原稿未着のものについて最終確認中
 - ・環境工学用教材 宗方委員を中心に掲載候補となる図を収集中。10月初旬に、候補をメーリングリストに流し、掲載図表を決めていく
- (3) その他
 - ・出版物の売り上げについて
 - ・シンポジウム等開催実績：環境工学部門は全体として若干の黒字
 - ・感覚・知覚心理シンポジウム 成功裏に終了
 - ・今後のシンポジウム企画の参考として紹介
光環境で開催されるような「～におけるアカデミックスタンダードとは？」
 - ・水環境では「〇〇に関する考え方」というような文章を作成し、公開を目指している。

審議事項

- (1) 2009年度小委員会設置申請（10/31まで）
 - ・現小委員会の設置期限が2009年3月に来るため、廃止申請と新規の設置申請を行う必要がある
10月に運営委員会を開催し（10/24 18:00が第1候補、10/23 18:00が第2候補）、確認・調整の後提出の予定
 - ・環境心理小委員会について→名称維持
これまでの路線継続
 - ・学際的展開WG 継続（必要理由を考えていただく→渡邊 WG 主査・小島小委主査）
 - ・チュートリアルについて
環境心理小委傘下に実施のためのWG設置を検討（小委で検討）
社会人を対象としたものも考える
来年度の仙台では、地の利のある人を見つけて巻き込んでいくことも考える
 - ・感覚・知覚心理小委員会→名称維持
10月初旬に小委員会を開催して、次年度以降の活動内容を検討
主査は交代の予定

- ・ヒューマナイズ小委員会→名称・内容変更予定

讃井現主査より「質的調査の活用法検討小委員会」、「質的研究小委員会」が提案された
メンバーは継続を基本線とする

(2) 2009 年度大会オーガナイズド・セッション

- ・検討経緯 大井運営委員会主査案として、これまでニーズ調査もの、実際に調査するものと続いたので、次は検証ものでどうか。またそれぞれのテーマが、環境心理小委員会、感覚・知覚小委員会 (WG) に関わるものであったので、ヒューマナイズ小委員会に検討をお願いすることにした。
- ・讃井主査より「環境心理研究の実践」が提案された。実務適用事例、実践を前提とした研究法の提案など→実践に際しての課題と対応を考えるもの。運営委員会としてこれを承認。少し間口を拡げる方向性を打ち出し、企業の活動内容なども発表してもらえるとよいとの意見があった。
- ・会告原稿は 200 字程度なので、讃井主査が修正案を作成する。9/26 の環境工学委員会に提出するので、それ以前にメーリングリストに文案を流して運営委員の意見を求める。
- ・投稿された原稿の選考は、運営委員会メンバーで行うこととする。

(3) 2009 年度開始特別研究委員会の検討について

- ・提案なしとする

(4) 2009 年度技術部門設計競技課題の提案について

- ・提案なしとする

(5) 2009 年度若手特別研究委員会設置の応募について

- ・若手委員候補 (40 歳以下の人) をリストアップし、応募を呼びかける

次回日程 欠席委員等の都合を再確認の上、確定する

第一候補 2008 年 10 月 24 日 18:00～ 建築会館会議室

第二候補 2008 年 10 月 23 日 18:00～ //

※来年度計画書等提出〆切 10 月 31 日